



平成 30 年 6 月 29 日
佐賀大学理工学部

佐賀県内工業系高等学校との進学懇談会を実施

【概要】

佐賀県内の工業系高等学校の校長並びに進路担当者等 16 名と生徒 18 名が平成 30 年 6 月 20 日に佐賀大学理工学部を訪問され、工業系高等学校と佐賀大学理工学部との進学懇談会が実施されました。

【本文】

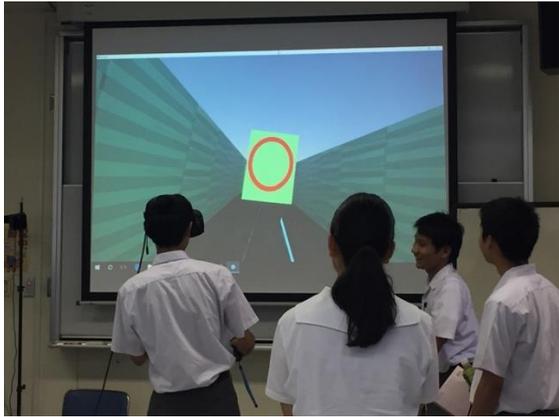
平成 30 年度佐賀県内工業系高等学校と佐賀大学理工学部との進学懇談会が平成 30 年 6 月 20 日に佐賀大学理工学部において実施されました。

当進学懇談会では、県内の工業系高等学校の校長並びに進路担当者等 16 名と生徒 18 名が佐賀大学理工学部を訪問し、生徒は理工学部各学科の見学会に参加し、高等学校関係者は、理工学部長と各学科主任等との間で懇談会を行いました。

見学会では、生徒の希望に応じて情報システム学科、機械システム工学科、電気電子工学科、都市工学科に分かれて、最新の研究内容の説明や実験設備の見学を行いました。情報システム学科の見学では、バーチャルリアリティの体験やロボットの研究、人工知能、暗号、セキュリティなどの様々な研究成果に触れ、それぞれに興味を持ったテーマについて尋ねたり体験したりの一時を楽しんでいました。機械システム工学科の見学では、光空間通信についての最新の研究内容の紹介がありました。電気電子工学科の見学では、電波を用いた電力輸送に関する最新の研究紹介や、電波暗室での電磁波の無い空間を体験しました。都市工学科の見学では、製図室で学生の作品の説明を受けたり、土質実験室の試験装置や屋上にある温度測定装置などの見学を行いました。

懇談会では、副島 高等学校教育研究会工業部会長と渡 理工学部長の挨拶ののち、理工学部側から平成 31 年度設置認可申請中の改組後の入試とカリキュラムについて説明がありました。その後の質疑応答で、工業系高等学校から入学した学生の進路や、工業系高等学校の生徒が学習しておくべき内容、改組後の入試とコース配属等についての質問があり回答がなされました。

最後に、工業系高等学校側から、平成 30 年 3 月に佐賀大学理工学部と佐賀県高等学校教育研究会工業部会の高大連携に関する協定が結ばれ、平成 30 年度に 2 名の 4 年生が工業系高等学校で教育実習を行ったこと、工業系高等学校へのインターンシップも実施可能であることと、工業系高等学校教員を学生の就職先の一つとして考えて欲しいとの話がありました。



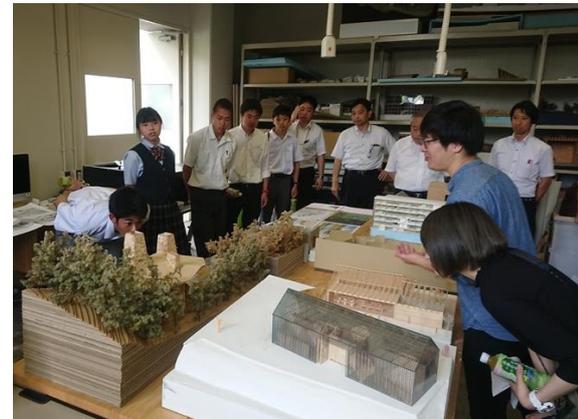
知能情報システム学科での見学会の様子



機械システム工学科での見学会の様子



電気電子工学科での見学会の様子



都市工学科での見学会の様子



懇談会の様子